

# 施策マネジメントシート

施策名	行政評価	都市農業の推進	施策統括課	都市農業推進担当	氏名	三澤英和
政策名	施策体系	まちをつかう	施策関係課	都市計画課		

## 1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) \*人や自然資源等

- ・農業従事者
- ・市民
- ・農地
- ・消費者、小売業者

意図(対象をどう変えるのか)

- ・市の農産物を持続的に生産・加工、販売している
- ・農業に親しんでいる
- ・有効に活用されている

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 農業従事者数	人
イ 農地面積	m <sup>2</sup>
ウ 人口	人
エ	

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 農産物販売額	千円
イ エコファーマー・認定農業者数	人
ウ 不耕作農地面積率	%
エ 市内の農産物の生産・加工・販売に携わっている事業所、団体数	団体
オ 農園等利用者数	人

## 2 第2次基本計画期間(平成23～27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
環境保全型農業の実践と農地の維持	エコファーマーの意識を持った認定農業者への取組みを進めます。生産緑地の維持に向け、東京都や国へ制度改善の要望をしていきます。次世代に継承できる農業景観づくりを進めます。
市民との協働による農業の推進	農業ボランティアの育成・組織化を進めます。体験農園等の普及・促進に努めます。
農工商、観光との連携	くにたち野菜としてのブランド化を図ります。加工事業者を育成していきます。

## 3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

		単位	数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
対象指標	ア	人	見込み値			290	290					
			実績値	288	282		272	255	223	221		
	イ	m <sup>2</sup>	見込み値			680,000	680,000					
			実績値	750,000	683,000		668,000		644,500	631,300		
成果指標	ウ	人	見込み値									76,000
			実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,285	74,271		
	ア	千円	成り行き値				150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
			目標値				180,000	200,000	200,000	210,000	220,000	230,000
			実績値	168,200		170,000	220,000	190,000	150,000	142,000		
基本計画における 施策の目標設定の根拠				梨の栽培地減少等の減要因はあるが、地産地消を目的とした農産物買い取りによる販売事業の効果 を期待し、目標値を設定しました。								
成果指標	イ	人	成り行き値				19	19	19	19	19	19
			目標値				20	25	27	30	33	36
			実績値	15	19	19	19	19	19	11		
	基本計画における 施策の目標設定の根拠											
成果指標	ウ	%	成り行き値				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			目標値				1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値		1.3		1.3	0.7	1.0	1.4		
	基本計画における 施策の目標設定の根拠											
成果指標	エ	団体	成り行き値				11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0
			目標値				11.0	12.0	12.0	12.0	13.0	13.0
			実績値	11.0	11.0	11.0	11.0	10.0	13.0	14.0		
	基本計画における 施策の目標設定の根拠											
成果指標	オ	人	成り行き値				800.0	800.0	800.0	800.0	800.0	800.0
			目標値				800.0	830.0	860.0	890.0	890.0	900.0
			実績値	562.0	600.0	800.0	800.0	850.0	867.0	766.0		
	基本計画における 施策の目標設定の根拠											
事務事業数		本数		13	12	12	14	14	12	12		
施策コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円	636	716	2,363	5,068	9,643	22,459	19,444	
			地方債	千円								
			その他	千円								
		一般財源	千円	12,026	10,306	8,977	8,634	11,586	22,640	27,937		
		事業費計(A)	千円	12,662	11,022	11,340	13,702	21,229	45,099	47,381	0	0
人件費	延べ業務時間	時間		3,246	3,130	3,472	3,534	3,750	7,430	7,430		
	人件費計(B)	千円		16,230	15,650	17,360	17,670	18,750	37,150	37,150		
トータルコスト(A)+(B)		千円		28,892	26,672	28,700	31,372	39,979	82,249	84,531	0	0

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の交渉参加国との会議が進められているが、農業分野においては、関税撤廃による農林水産業への打撃や食の安全、一方で農業の国際競争力強化など、依然として賛成派反対派それぞれの主張がなされている状況である。  
 また都市農業は、1968年の改正都市計画法により、今後計画的に市街化が図られる市街化区域内農地であるため、市街化が図られるまでの暫定的な農地として農水省の施策対象から外されている。しかしながら、生産緑地法や租税特別措置法(相続税納税猶予)などの制度によって維持されている状況など、営農を取り巻く環境は依然として厳しい。一方政府部内等において都市農業・農地の保全と活用に関する新たな法整備の検討が進められている。  
 全体の農業従事者数は減ってきているが、若い農業従事者は増加傾向にある。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・機能が十分に活かされていない農地を非農業者(団体含む)が借りることはできないか。
- ・道の駅など農産物の直売所を設置し、農家や商業者が儲かる施設が建てられないか。

5 25年度の評価結果

(1) 25年度行政経営方針の取組状況

25年度行政経営方針	取組状況
	平成22年度から実施している「活き活き都市農業推進事業」を推進しており、以下の取組みを行った。 ・城山さとのいえ実施設計、・くにたちマルシェの開催、・くにたち野菜フェアの開催、・農のポータルサイト(くにたちあぐりッポ)の運営

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標値達成度(目標値と実績値との比較)

成果指標ア 【 農産物販売額 】	<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達成	( <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持	<input checked="" type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下
成果指標イ 【 エコファーマー・認定農業者数 】	<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達成	( <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持	<input checked="" type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下
成果指標ウ 【 不耕作農地面積率 】	<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達成	( <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持	<input checked="" type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下
成果指標エ 【 市内の農産物の生産・加工・販売に携わっている事業所、団体数 】	<input checked="" type="checkbox"/> 25年度目標値を達成	<input type="checkbox"/> 未達成	( <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持	<input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下
成果指標オ 【 農園等利用者数 】	<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達成	( <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持	<input checked="" type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下
成果指標カ 【 】	<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成	<input type="checkbox"/> 未達成	( <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持	<input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下

時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)

C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)

他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い)

C:他自治体と比べてほぼ同水準である

背景として考えられること

ア...作付面積の減少等

イ...制度が過渡期であり、認定農業者への移行を考えている。

ウ...高齢農業者の健康上の理由に加え後継者がいないことで年ごとにまぢまちである。

エ...活き活き都市農業推進事業等で新たな組織ができています。(任意組織及び実行委員会)

オ...市民農園面積が減少している。

...活き活き都市農業推進事業の成果と言える。

...現時点では、まだ効果が出ている状況とはいえない。

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

活き活き都市農業推進事業は、施設整備だけではなく農産物の地産地消の検討や仕組みづくりなど、事業者や市民(消費者)などの積極的な関わりにより、ウィンウィンの関係を築くことが念頭にある。残すところあと1年間の事業であるが、当初より本事業にかかわっている事業者からのコンサルティングを活用するとともに、今後マンパワー如何で市の農業が大きく変わっていくことが想定される。

6 施策の課題・今後の方向性

農業者が、農業・農地を活かしたまちづくり事業における農地の多面的機能及び必要性を正確に理解することが課題である。

生産緑地や相続税納税猶予など、所謂、制度に乗った農地を社会的資産として認識するような意識変革をしなければ、私有財産制の下では本事業は徒労に終わるのではないかと危惧している。これを杞憂にするためにも、農業者をはじめ市民に喜ばれるような大きな成果を生み出す必要がある。